



理事長 学院長
杉山 勝巳

さのル撮で軽ドレン行隔がに○進変 ざ
ま
な
分
野
で
で
活


 で野災検 ま执閣粒気国

発こ達っ し展 よ | し |
| :---: | 2 に億

円
•
に
拡
＊ に
は
前
拡
年
大 $\begin{array}{ccc} & \text { さ } & 4 \\ \text { は } & \text { そ } & 2 \\ \text { 前 } & \text {（ } & \% \\ \text { 比 } & \text { ま } & \text { 増 } \\ 7 & \text { す } & 5 \\ 1 & \circ & 0 \\ \% & 2 & 3 \\ \text { 増 } & 0 & \text { 億 } \\ \text { の } & 1 & \text { P } \\ 8 & 8 & \text { と } \\ 6 & \text { 年 } & \end{array}$ $\begin{array}{cc}2 & \text { ジ } \\ \% & \text { ネ } \\ \text { 増 } & \text { ス } \\ \text { の } & \text { 市 } \\ 5 & \text { 場 } \\ 0 & \text { 規 } \\ 3 & \text { 模 } \\ \text { 億 } & \text { は } \\ \text { 円 } & \text {－} \\ \text { と } & \text { 前 } \\ \text { 推 } & \text { 年 } \\ \text { 定 } & \text { 比 }\end{array}$ 2
0
1
7
7
年
の
の
内
内
の
ド
ロ
！


$$
\begin{array}{ll}
\text { る } \\
\text { か }
\end{array}
$$

$$
\begin{aligned}
& \text { か } \\
& 5 \\
& \text { c゙ } \\
& \text { す }
\end{aligned}
$$

$$
\begin{array}{ll}
\text { つ 全 に } \\
\text { c゙ } \\
\hline
\end{array}
$$

$$
\begin{array}{ll} 
& \text { つ } \\
\text { こ } & \text { で } \\
\text { の } & \text { す。 }
\end{array}
$$

るドプ映ド的ジ 術













え
グ
異
ロ
バ
ル
に
利
用
さ
れ
て
体 む
が こ の が要ク在なプ職学I シ，改今と年い が発と神
 バを浸組ド
 $\begin{array}{lll}\text { さ } & \text { 境 } & \text { 多 } \\ \text { れ } \\ \text { を } \\ \text { 越 } & \\ & \end{array}$

$$
\begin{array}{cc}
\text { な } & A \\
\text { 新 } & I \\
C & \\
W & 5
\end{array}
$$


全 組

## 累がが 3 内

$\square$

$$
\begin{array}{ll}
\text { 時 } & \text { 客 } \\
\text { の } & \text { 様 } \\
\text { 橲 }
\end{array}
$$

$$
\begin{aligned}
& \text { 客 た } \\
& \text { 様 シ } \\
& \text { に ス }
\end{aligned}
$$

$$
\begin{array}{ll}
\text { た } & し \\
\text { シ } & \text { て } \\
\text { ス } & \text { 動 } \\
\text { テ } & \text { 作 } \\
ム & し \\
\text { が } & \text { ま }
\end{array}
$$

洣略にが́́"





## ロボットニンテスト㬰績を活かす！

す成Aア1ロエまンpスムわス社方回トがトはをを技かに組 にI・ト1ンこし開 e マ様れ産 「向目の中1 1重始会5取込2本取エIロンジれた発「1とて業神性の発心ムしねあで出りみ0 校




でなジエラば エ シ を | の |
| :--- |
| 優 |
| 勝 |
| 経 |

## ロボットコンテスト出場記録

| 平成21年6月13日 | 近藤科学1森第3回自律ビーチフラッグ競技会 学生部門 | 準優勝 |
| :---: | :---: | :---: |
| 平成21年12月23日 | 第18回全国専門学校ロボット競技会 | 優秀ヒューマノイド賞 |
| 平成22年6月5日 | 近藤科学（株第5回自律ビーチフラッグ競技会 |  |
|  | 学生部門 | 優勝 |
|  | エキスパート部門 VS 学生部門 | 優勝 |
| 平成22年6月6日 | 近藤科学（株）KONDOCUP | 優勝 |
| 平成22年10月28日 | ESSロボットチャレンジ2010 自動航行飛行船コンテスト | モデリング奨励賞 |
| 平成22年12月23日 | 第19回全国専門学校ロボット競技会 | 団体優勝 |
| 平成23年9月10日 | ESSロボットチャレンジ2011 自動航行飛行船コンテスト | 準優勝 |
| 平成23年10月9日 | ETロボコン2011南関東地区大会ゼロヨンチキンレース | 優勝 |
| 平成23年12月23日 | 第20回全国専門学校ロボット競技会 | 団体優勝 |
| 平成 24 年9月30日 | ETロボコン2012南関東地区大会ゼロヨンチキンレース | 優勝 |
| 平成24年9月30日 | ETロボコン2012南関東地区大会競技部門 | 2 位，3位 |
| 平成 24 年10月18日 | ESSロボットチャレンジ2012 自動航行飛行船コンテスト | デモンストレーション賞 |
| 平成24年12月22日 | 第21回全国専門学校ロボット競技会 | 団体優勝 |
| 平成25年10月17日 | ESSロボットチャレンジ2013 自動航行飛行船コンテスト | コンパリソン部門 1 位 |
| 平成25年11月13日 | ETロボコン2013第6回FTC杯ディベロッパー部門 | 準優勝 |
| 平成25年9月22日 | ETロボコン2013南関東地区大会 |  |
|  | ディベロッパー部門 競技部門 | 3 位 |
|  | ディベロッパー部門 モデル審査部門 | GOLD MODEL賞 |
| 平成25年12月22日 | 第22回全国専門学校ロボット競技会 | 団体優勝 |
| 平成27年9月20日 | ETロボコン2012南関東地区大会 |  |
|  | ディベロッパー部門 アドバンストクラス 競技部門 | 優勝 |
| 平成28年12月22日 | 第25回全国専門学校ロボット競技会 | 団体優勝 |



度削なはあヤ上か にな边がな第にで ごす選技る音技字でボ に減くユりッでにも話（急大か3利く文。収ん術た声術をきツ大でて1 まト問もちをこ激きで回用る章こ集で，め認「判てト人きもザすボいつろしれにくもでさしかのすく文の識音断いは数まよ対。＂ツ合しんたたに研，近話れ技らななる
 クユり人に導る企ス思 セ ス ザ




 て
ま
い
ま
す を
無
視
し
て
し
ま
い
が
ち
に
な
っ と
な
く
く
気
ま
ず
く
な
な
っ
て
相
手
手
に
対
し
て
開
か
れ
た
た
気
持
も
も







$$
\begin{aligned}
& = \\
& = \\
& \\
&
\end{aligned}
$$

$$
\begin{array}{cc}
\text { う } & \text { と } \\
\text { で } & \text { の } \\
\text { す } & \text { 意 } \\
\text { 。 } & \text { 味 }
\end{array}
$$

$$
\begin{array}{ll}
し & \text { 乙 } \\
\text { て } & よ \\
\text { 卒 } & \\
\text { 業 } & \\
\text { 式 た } \\
\text { の } & \text { 時 } \\
\text { に } & \text { a } \\
\text { か } & \text { 意 } \\
\text { す } & \text { が } \\
\text { さ }
\end{array}
$$

$$
\begin{aligned}
& \text { は } \\
& \text { 今 } \\
& \text { 今 } \\
& \text { 晩 } \\
& \text { も } \\
& \text { 無 } \\
& \text { 事 } \\
& \text { に } \\
& \text { - } \\
& \text { 日 } \\
& \text { を } \\
& \text { を } \\
& \text { 終 } \\
& \text { え }
\end{aligned}
$$

$$
\begin{array}{ll}
\text { ら } & \text { 会 } \\
\text { え } \\
\text { て } & \text { よ } \\
\text { 嬉 } & \text { う } \\
し & \text { に } \\
\text { ね } & \text { は } \\
\text { に } & \text { 早 } \\
\text { の } & \text { い } \\
\text { 意 } & \text { 時 }
\end{array}
$$

$$
\begin{aligned}
& \begin{array}{ll}
\text { 不 } & \text { 関 } \\
\text { や } \\
\text { 心 } \\
\text { 心 } \\
\text { 配 筑 } \\
\text { も } \\
\text { 多 } \\
\text { く } \\
\text { あ } \\
\text { あ } \\
\text { る } \\
\text { か } \\
\text { と } \\
\text { 思 }
\end{array} \\
& \text { う始 } \\
& \text { 始 } \\
& \text { 道ら } \\
& \begin{array}{ll}
\text { か } \\
\text { 高 } \\
\text { 進校 } \\
\text { 学 } & \text { 年 }
\end{array}
\end{aligned}
$$

$\begin{array}{llll}\text { を そ 相 を う } \\ \text { 引 の手込意 }\end{array}$
引 の
き 結
そ，そあず拶
$\begin{aligned} & \text { 書 } \\ & \text { き } \\ & \text { き }\end{aligned}$
$\begin{array}{ll}\text { あ } & \\ \text { い } & \text { 少 } \\ \text { さ } & \text { 難 } \\ \text { は } \\ \text { は } \\ \text { 漢 } & \text { 話 } \\ \text { 字 に } \\ \text { で } & \text { な } \\ \text { こ } \\ \text { 挨 } & \text { ま } \\ \text { 拶 } & \text { す } \\ \text { と }\end{array}$

いちもい っ ま
て す レ待業スち業 ス
側 が
時 －減間 ユ り ずま
少
側。 のこな
両 ${ }^{\text {方 }}$ よ
信方 よ

利に

ち シ 筆

## 杷 野 巷 只 <br> シ 筆 ア <br> 

 お る
し
い
い
で
も
い
 え
変形成
え
て
し も
ま し
う か
大 す
き る
な と
出運
会 命

 そを


む 日々の活動の中で楽しく制作
神奈川県立有馬高等学校 美術陶芸部


個性を活かして写真を楽しむ
神奈川県立霧が丘高等学校 写真部

















$\qquad$



 $\begin{array}{ll}\text { 鉄 } & \text { 慢 } \\ \text { 道 } & \text { の } \\ \text { 研 } & \text { 鉄 } \\ \text { 究 } & \text { 部 } \\ \text { の } & \\ \text { の自 } \\ \text { 慢 } \\ \text { は } \\ \text { 各 }\end{array}$










充
実
し
た
活
動
を
行
い
ま
し
 し
な
の
鉄
道
の
車
厙
を
見
学
さ




## 「フリーキックのルール」

サッカー日本代表は，2019年6月7日（金）からIFA女子ワールドカップフランス2019 6月14日（金）からCONMEBOLコパ・アメリカブラジル2019，更には9月からFIFAワール ドカップ2022アジア2次予選が始まり，まだまだ，目が離せない状況です。

試合中に流れを変える要素の1つとして「フリーキック」があります。その名の通り「相手からじゃまされず に自由な状態でボールを蹴ることができる」というルールです。今回は，そのフリーキックについて解説し たいと思います。

【フリーキック】
試合中にファウルや不正行為が行われた時，反則を受けた側が反則を受けた地点から相手の妨害を受 けない形でキックすることで試合を再開するルール（ボールを蹴る選手はメンバーならば誰でもOK）で す。

フリーキックには「直接フリーキック」と「間接フリーキック」の2種類があります。
【直接フリーキック】
相手を䠤る，つまずかせる，飛び掛る，チャージする，殴る，押す，抑える，つばを吐きかける，ハンドなどが反則になります。

- 反則を受けた側は，直接ゴールを狙うことができます。
- コーナーキックやゴールキックも直接フリーキックです。
（間接フリーキック】
主にゴールキーパーの不正行為に対して，相手チームに与えられるものです。
- ゴールキーパーがボールを手から離すまでにつ秒以上かかる
- ボールを手から離して相手プレイヤーが触れる前に再び手で触れる

－バックパスを手で触れる（バックパスとは，味方ブレイヤーがキーパーにボールをパスすること） －味方プレイヤーのスローインを直接手で触れる。

他にも，ボールとは無関係に相手の進行を妨げる，相手ゴールキーパーの邪魔をするなどが間接フリー キックとなります。反則を受けた側は，2人以上の選手がボールに触れないとゴールを狙えません。

フリーキックを得たチームは有利となりますが，フリーキックを取られたチームは不利な状況に陥りま す。フリーキックが試合の流れを左右すると言っても過言ではありません。
審判がファールを取以，フリーキックと判断した際に，受けた選手も取られた選手も審判に詰め寄るシー ンがよくあります。それは，フリーキックが試合の行方を左右することをよく知っているからなのです。とて もハラハラしてしまいます。現在は公平な審判をするため「VAR（ビデオ・アシスタント・レフェリー）」や「GLT（ゴールライン・テクノロジー」などの技術が採用され，より審判の精度が上がってきています。

ソーラーカーレースにチャレンジ



IT・ゲームソフ가
横浜システムエ学院専門学校ロボット・10T ソファ科回リブせンス科 （通微制） TONOHAMA STSTEN ENGINEEKINO．COLLE日E －ロリービス活用枓

